# ep42

**说话人1** *00:18*: これはファイトのマスター。なぜ私が戦っている時、現れなかったか？意志が現れて、愛情そういうルールだったはずだ。これは現代の戦いが私のものだ。貴様の物語はこのバトルホワイトは不幸な事故によって始まってしまった。そこには神の意思は介在していない。全てのアンテクインは近い、ライダーたちもギターンが全て始末。そしてこの戦いは終わる。こっちで食べたら。うん、でも、まだ調べてんのか？天王寺って人のこと？うん、カテゴリーが特定できない。どういうことなんだろう？間近に閉じ込めて、奇跡。イギリスで自分だけ怒鳴る問題を背負うまでの孤独な知識が導かない。君もライダーを倒したいはずだ。その力を与え、人形になれと言うのか？この戦いは神が始めたものではない。君はいくら戦ってもアンデッドを封印することはできない。勝者にはなれないよ。今度はそのライダーを導出させる。お前の真の目的は何だ？俺が怖いのか？もうどうせ行き場はない。昨日のアンデッドとは違ったんだな。トラのアンデッドとももう1体と間違えました。一気にサルタン払われたってわけか。なつき。あのさあ、昨日の何？あれ？脅かさないだよ。いきなりでも逃げちゃって。ごめん。これお詫び。あなたはなんでここで何をしている？取引をしようかと思ってね。アンデッドと取引はしない。なぜお前たちだけが犯人を謳歌すわがすごくは世界の片隅で生きていかなければならない。出て行け。出ていかなければぶっ殺す。怖くありません。怖くありません。あなたもむつきも怖くない。のぞみちゃん。のぞみちゃん。いずきが剣崎たちのところにいる。目つきが病気なんだ。君についててほしい。はい。どうした？行くか。どうしたの？美月戦うのは無意味だ。お前たちは互いに殺し合い滅ぶことになる。これじゃまるでアンデッドだ。怪物と化したライダー達は同士討ちを始める。そして最後には誰もいなくなる。見つけ。うわするな。ずっと見つけたぞ。アンデッドポイズン効果か。お前の中でアンデートたちが覚醒し、お前の肉体を支配しようとしている。お前はやがて戦うことしか考えられなくなる。そして、他のライダーたちに倒されるその前に私が倒す。油断するなよ。私は手加減などしない。今の私はお前と同じだ。座りのバイトに踊らされていた私にも戦う理由などなかった。貴様と同じ、ただの獣だ。こんな戦い方で私を倒すつもりか？人の力を借りるだけでは私には勝てない。それは最強だ。いや、何があった？立花さん、待つ気が。6月はもうすぐ、俺たちの前に現れる風を吹くように封印し、強くなって、その時は決戦だ。仙崎立花束です。なら、ライダーの心を知らん。あいつが言っていたのは。あれは橘さんの？なんで俺のキングフォー見ろ！カテゴリエースが確認したや。あ、久しぶりだね。むつき君、あなたはやっと私の力を使いこなしてくれた。彼女のおかげだ。君をカテゴリーエースの呪縛から解放する。むつき、カテゴリーエースを封印しろ。光と闇に操られるな。自分の中に両方を抱えて戦い抜け、自分との戦いに終わりはない。シマさん、シマさんの力を使っている。ブイする。ブイするだぞ。好き。やったな。むつき。自分の力でカテゴリーズを封印できたな。朽木。お前は本当の仮面ライダーだった。大丈夫。やった。立花さん、あの人はわざと俺に封印されるつもりで。あの女だ。お前は信じてくれ。今の剣だけはアンデッドに心を支配する。大変です。アンデッドに操られてます。仮面ライダーのスカイの方々の人が来た。。